

■古賀坂排水機場の整備を行うことにより、床上浸水被害の解消を図る。

事業費：910百万円

A photograph of a flooded street in Japan. A person wearing a hat and a dark jacket is standing in a small, inflatable boat, navigating through the deep floodwaters. The street is lined with buildings, including a red Coca-Cola vending machine on the left. Power lines and poles are visible overhead. The water is murky and reflects the surrounding environment.

対策実施予定箇所

【久留米市】雨水幹線の整備

【福岡県】排水機場の整備

【福岡県】放水路の整備

【福岡県】護岸嵩上げ（パラペット）

【国土交通省】古賀坂排水機場のポンプ増設

池町川放水路

池町川

久留米駅

【福岡県】地下調節池の整備

九州新幹線

与田川

逆流防止ゲート

【久留米市】逆流防止ゲートの設置
フラップゲートの設置
ゲートポンプの設置

【久留米市】雨水幹線の整備

金丸川

ゲートポンプ

逆流防止ゲート

ゲートポンプ

逆流防止ゲート

逆流防止ゲート

※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性あり。

※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性があります。

■筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業(朝倉市)

○平成29年7月の九州北部豪雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するために筑後川水系赤谷川において緊急かつ集中的に砂防堰堤等の整備を実施。

位置図



令和4年度
実施内容: 砂防堰堤工 等

事業費: 4,856百万円



乙石川上流 斜面崩壊状況

乙石川

集中豪雨による土砂災害(平成29年7月)



乙石川 流木被害発生状況

集中豪雨による流木災害(平成29年7月)



山腹崩壊・被災状況

崩壊箇所



流木捕捉効果の高い
乙石川25・26砂防堰堤



令和4年度整備箇所

紫川水系神嶽川大規模特定河川事業（北九州市）

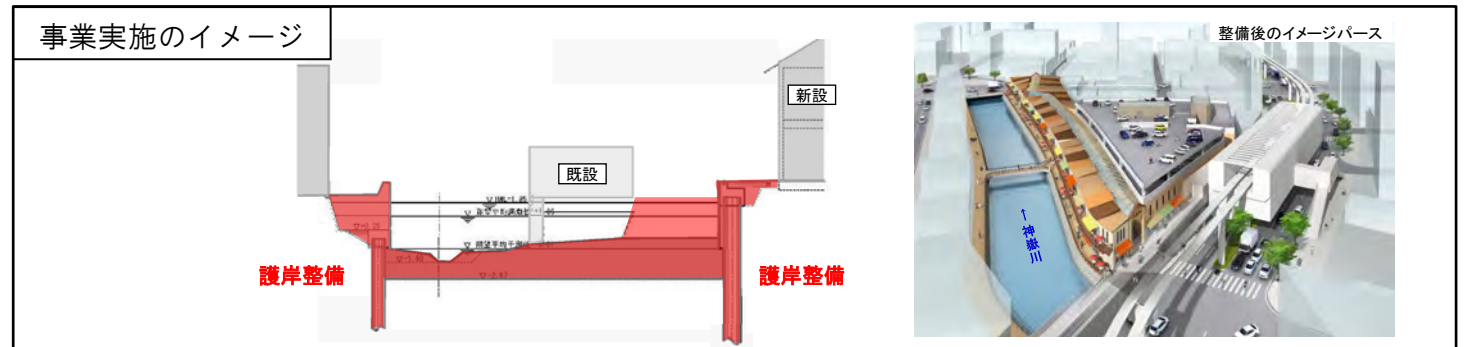
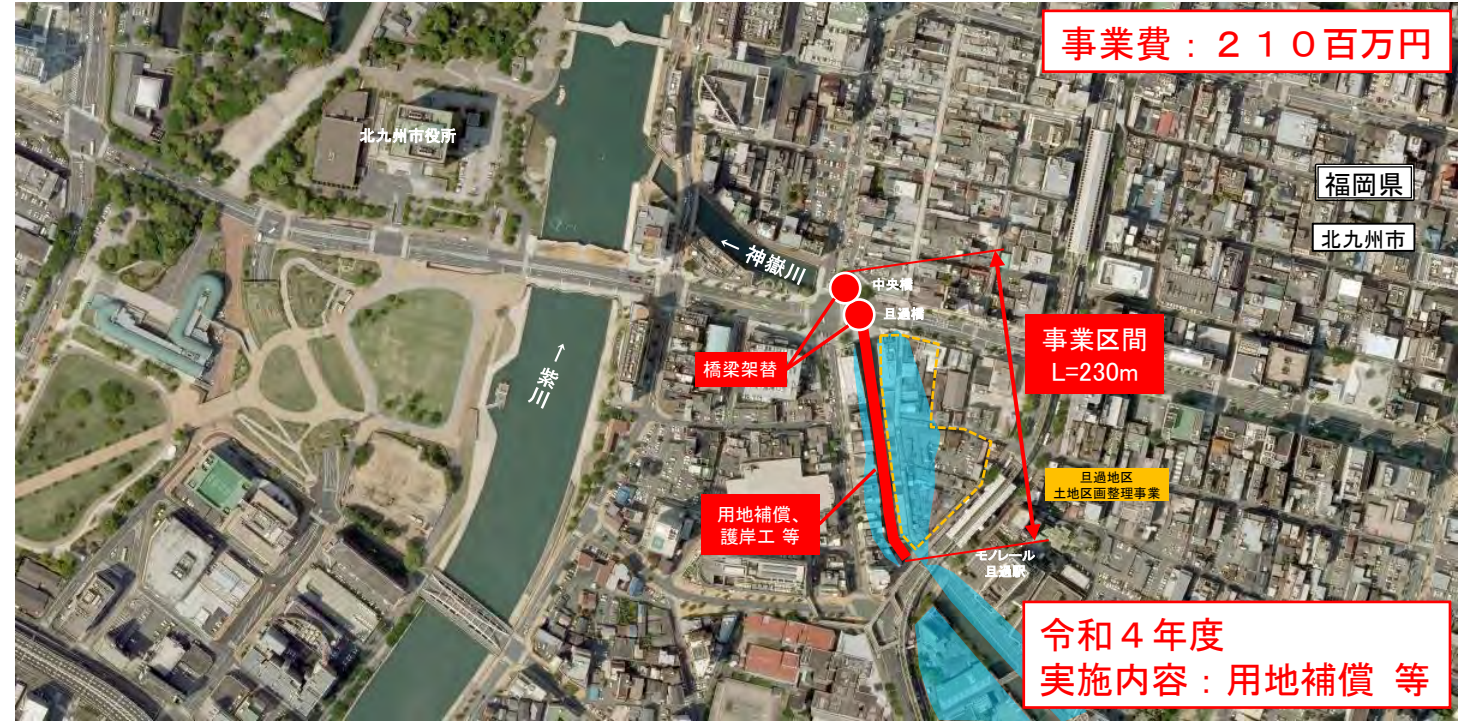
紫川水系神嶽川は、北九州市の中心市街地を流下しており、平成30年7月のほか、平成21年7月、平成22年7月、平成25年7月の豪雨による洪水等で甚大な被害が発生した。

このため、大規模特定河川事業により、橋梁架替及び護岸整備等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



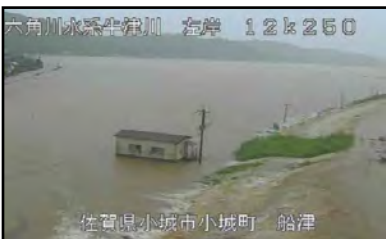
浸水戸数

	床上	床下
平成21年7月	56	111
平成22年7月	—	100
平成25年7月	1	54
平成30年7月	84	77



■令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。また、令和3年8月においても同規模の浸水被害が発生。

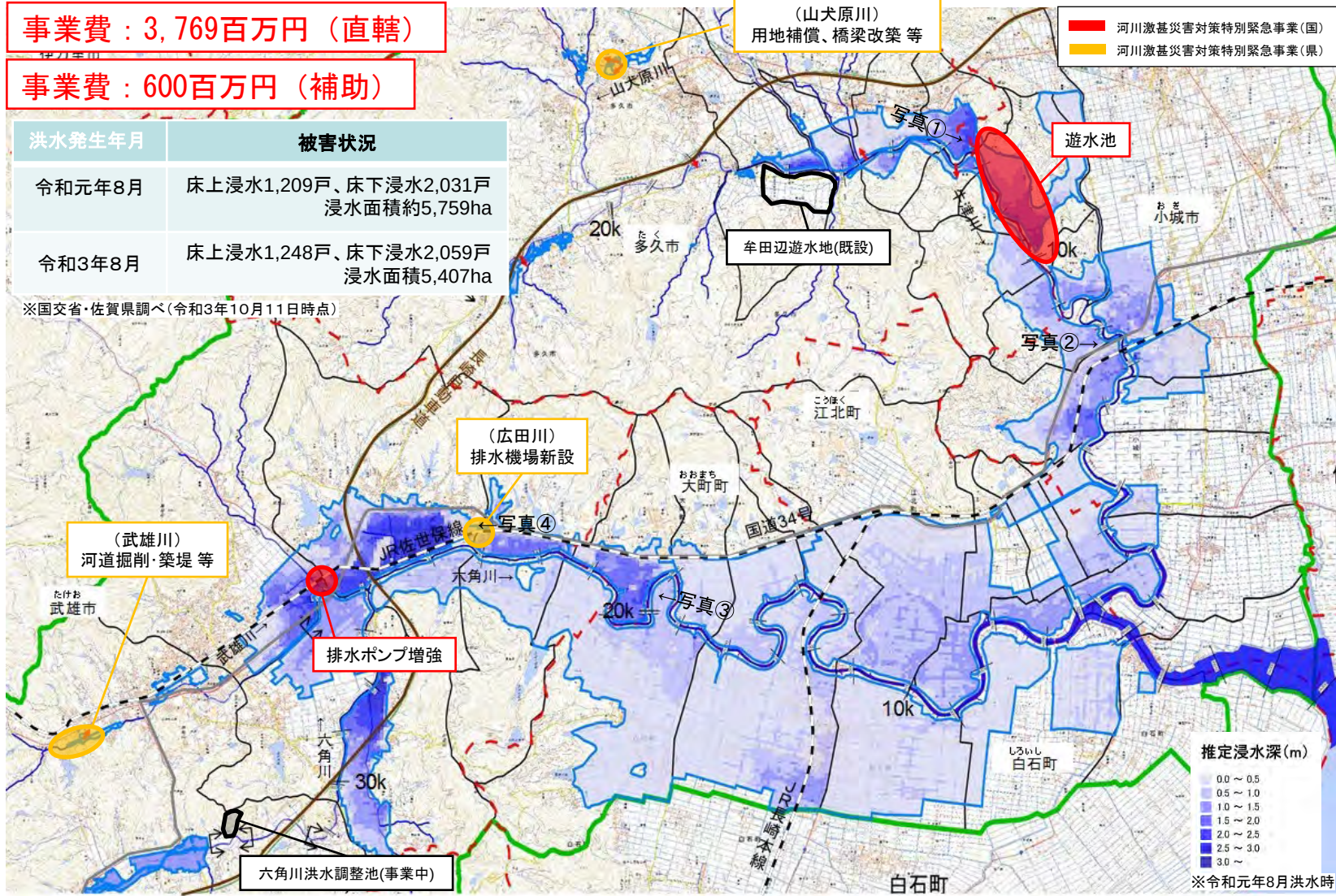
■本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



令和元年8月洪水(牛津川越水状況)



令和元年8月洪水(牛津川越水状況)



■西田川水門は、筑後川本川と西田川の合流点に位置しており、流下能力が低いことから度々浸水被害が発生しており、令和3年8月出水においても浸水被害が発生。

■西田川の河川改修と合わせて、西田川水門を改築することで浸水被害軽減を図る。

位置図

下野地区
(西田川水門)



現況の西田川水門

令和4年度実施内容 水門改築(用地補償) 1式

事業費：3,739百万円

※筑後川水系における直轄河川改修事業の
令和4年度事業費を記載しております。



R3.8 出水被害状況



■事業概要

○場 所 佐賀県神埼市かんざきし（筑後川水系城原川ちくごがわ）

○目 的 洪水調節

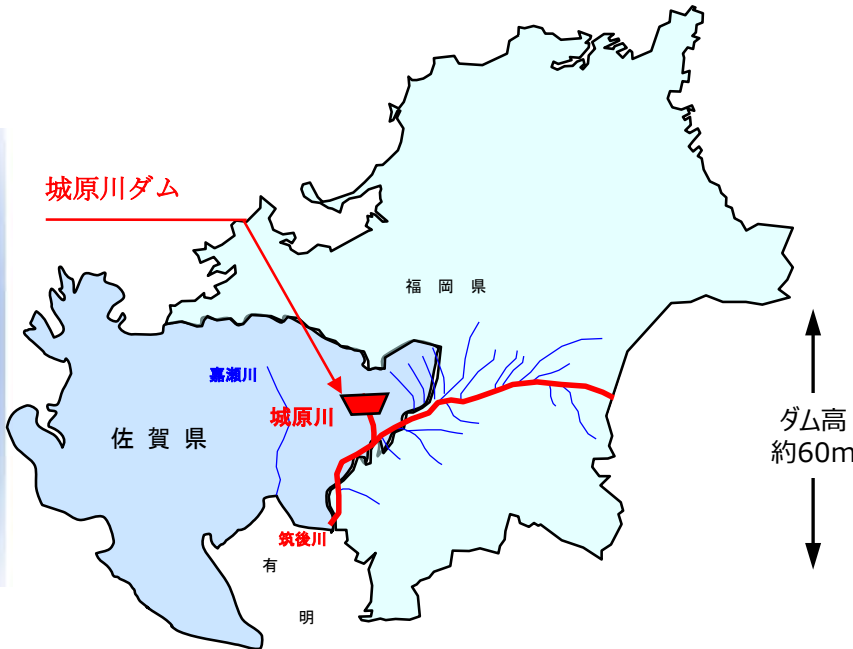
○諸 元 堤高：約60m 総貯水容量：約3,550千m³

○経 緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

位置図



■令和4年度実施内容

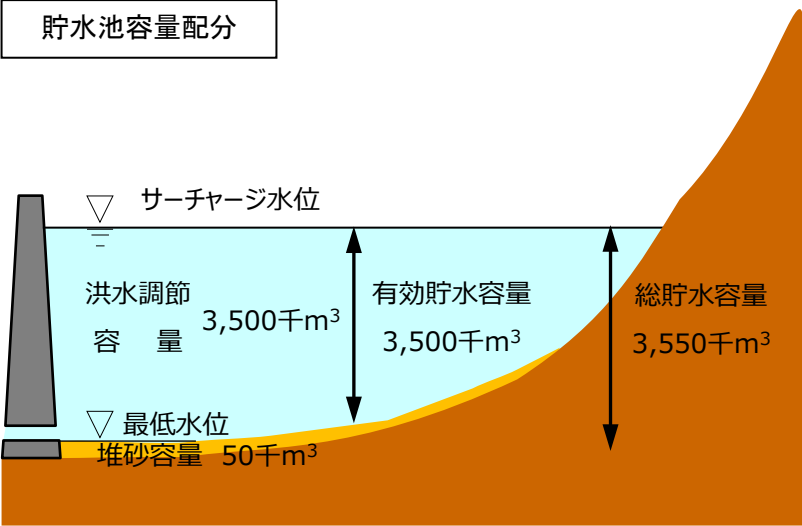
本体関連の調査・設計、用地調査
付替道路の調査・設計、工事用道路工事 等

城原川ダム完成イメージ

事業費：872百万円



貯水池容量配分

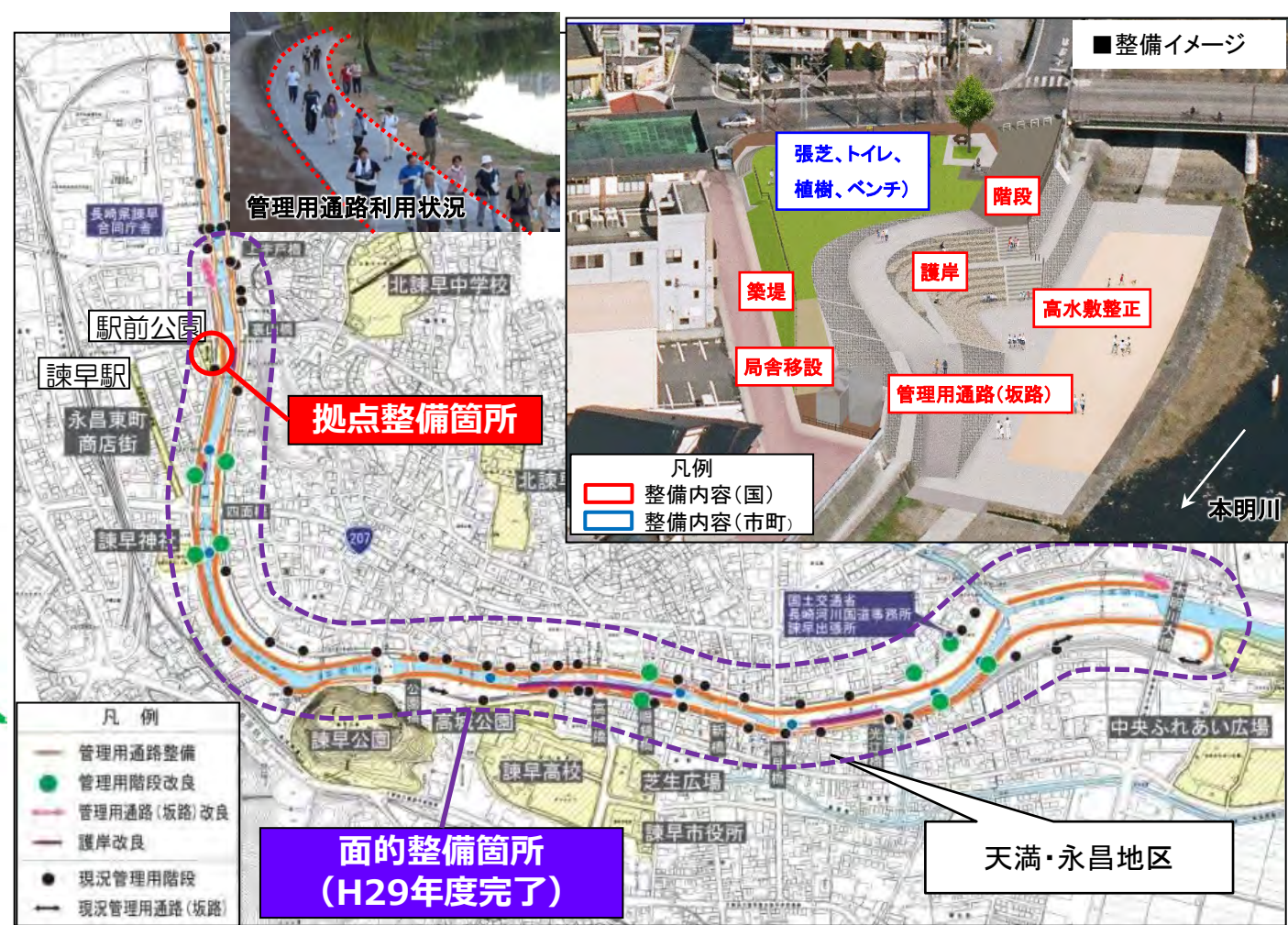


- 天満・永昌地区では令和2年3月にかわまちづくり計画が変更登録され、九州新幹線（西九州ルート）の開業（目標）に向け、諫早駅周辺整備基本構想や諫早駅周辺整備計画に基づく再整備等、中心市街地活性化等を進めている。
- まち空間と融合する河川空間を創出するため、管理用通路、高水敷整正等の整備をおこなう。



事業費：23百万円

令和4年度実施内容：局舎移設



■事業概要

○場 所 いさはやし ほんみょうがわ 長崎県諫早市(本明川水系本明川)

○目 的 洪水調節
流水の正常な機能の維持

○諸 元 堤高:約60.0m 総貯水容量:約6,200千m³

○経 緯 平成2年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

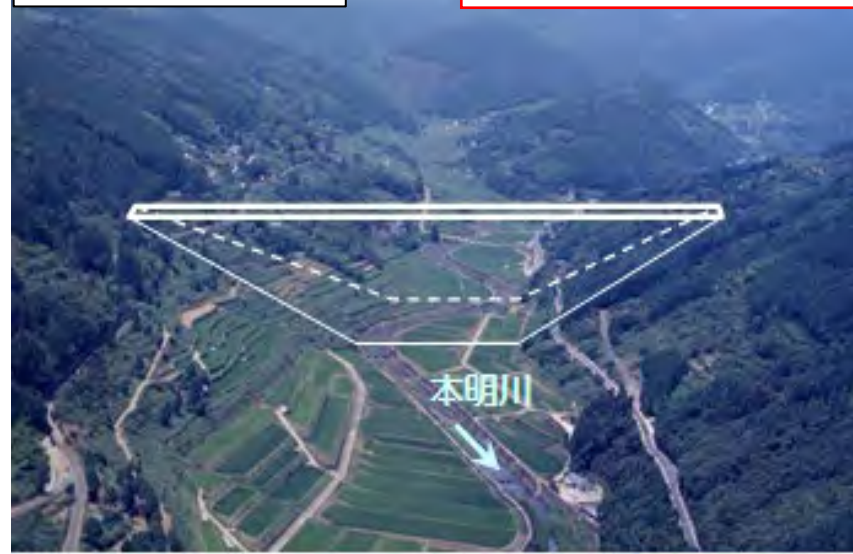
◆洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

■令和4年度実施内容

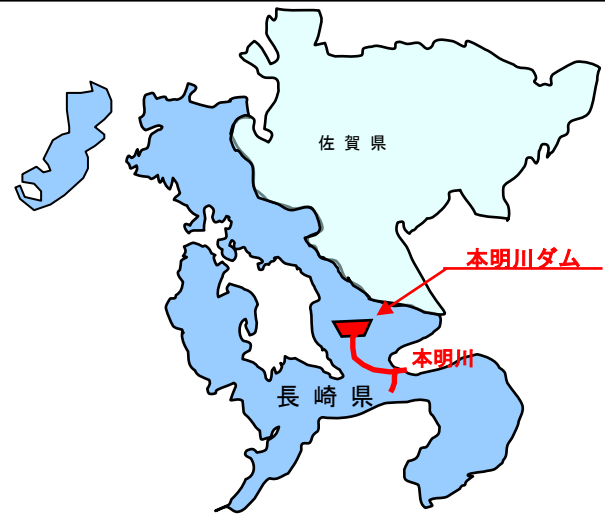
付替道路工事、用地補償、
本体関連の調査・測量・設計 等

本明川ダム完成イメージ

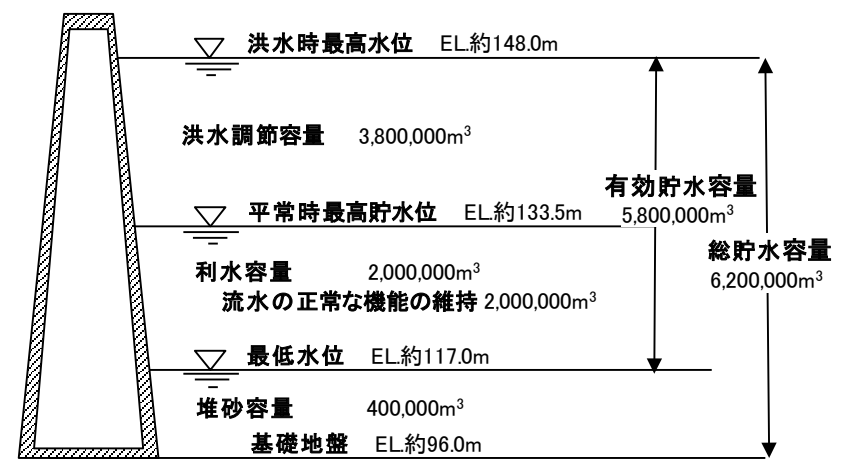
事業費：4,858百万円



位置図



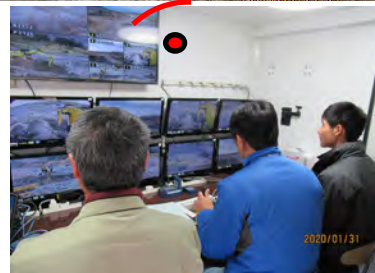
諸元



■雲仙直轄砂防管理事業(島原市、南島原市)

○雲仙・普賢岳は、平成2年11月に噴火活動を再開し、噴火に伴う火砕流や土石流によって甚大な被害が発生。現在でも大量に土砂が堆積し、毎年のように土石流が発生している。また、山頂付近には溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が形成され、崩落等の危険性が懸念されることから依然として警戒区域が設定されている。

○このため、除石や砂防施設修繕は無人化施工による高度な技術を用いて、管理を行う必要がある。



令和4年度
実施内容: 除石工等

管理費: 942百万円

元玉名地区河川防災ステーション整備事業【直轄】

新規

河川－11

■菊池川水系の洪水被害を最小限とするため、災害発生時の緊急復旧活動に必要な資材の備蓄等を行うとともに玉名市が水防センターを設置するなど災害時の活用拠点として、河川防災ステーションの整備を実施します。

■また、平常時には防災学習の拠点として利用するとともに地域の交流・憩いの場として活用が可能となります。

位置図



整備イメージ



令和4年度実施内容 用地取得 1式

事業費：1,550百万円

※菊池川水系における直轄河川改修事業の令和4年度事業費を記載しております。



合志川堰群改築事業【直轄】

完成

河川－12

■平成24年7月九州北部豪雨で堤防からの越水による家屋の浸水等、甚大な被害が発生した合志川において、河道掘削、築堤及び横断工作物の改築を実施。

■令和4年度は、山城堰の堰改築、舟島橋上流の河道掘削・護岸工を行うことで、平成24年7月の九州北部豪雨と同規模の洪水氾濫による家屋浸水被害を解消するための一連工事が完了。



植木温泉街に流入する氾濫流
(山城堰下流右岸) H24.7.12



堤防上に残る流木
(山城堰上流右岸) H24.7.12

事業費：1,550百万円

※菊池川水系における直轄河川
改修事業の令和4年度事業費を
記載しております。



- 宇土走潟地区では令和3年8月にかわまちづくり計画が登録され、緑川・浜戸川の自然環境を活かし、安心して水辺利用できる親水空間、宇土市中心部や熊本市からの市境を越えた交流ができる賑わいのある水辺拠点の創出を目指している。
- まち空間と融合する河川空間を創出するため、高水敷整正、河川管理用通路、親水護岸等の整備をおこなう。



【整備イメージ】

事業費：23百万円※

※事業費は水系全体を記載

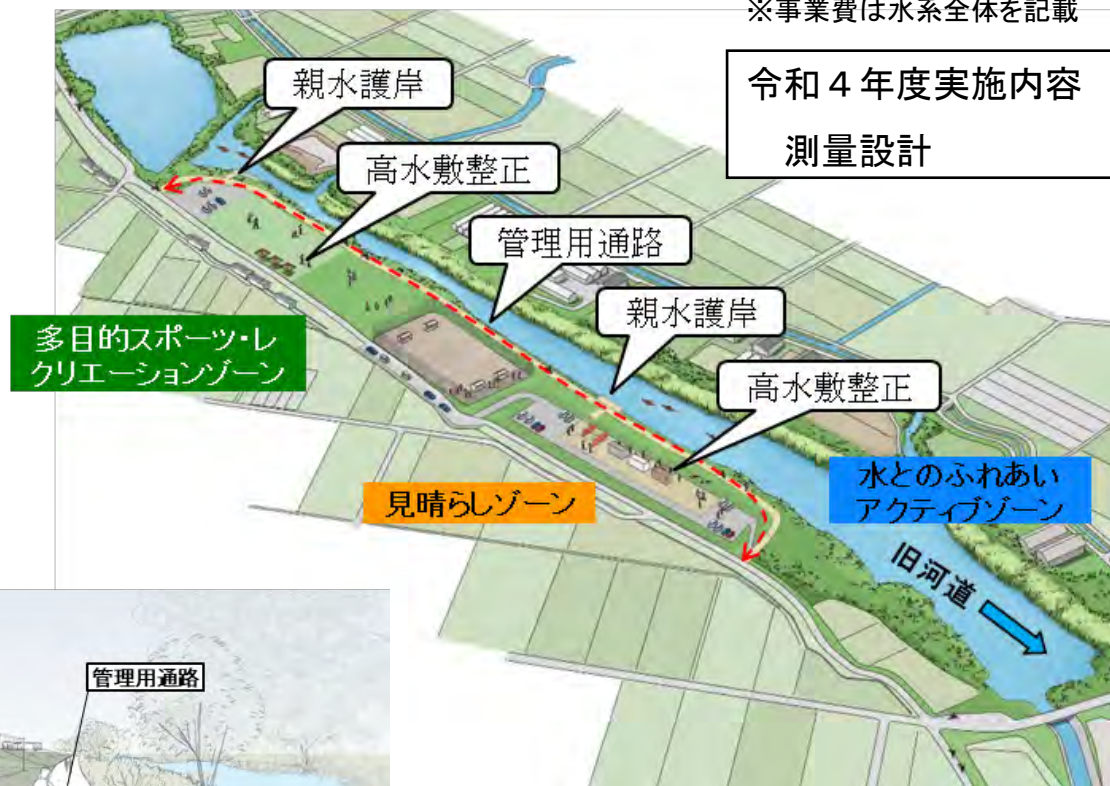
令和4年度実施内容
測量設計



イベント開催等、水辺の憩いの空間にするため、高水敷を整正



安全に水辺を利用できるようにするため、階段状の親水護岸を整備



水辺を眺めながら安全に散策・サイクリングができるようにするため、管理用通路を整備

立野ダム建設事業【直轄】

完成

河川－14

■事業概要

○場 所 (右岸)熊本県阿蘇郡南阿蘇村

あそぐん みなみあそむら

(左岸) 〃 菊池郡大津町(白川水系白川)

きくちぐん おおづまち しらかわ

○目 的 洪水調節

○諸 元 堤高:約90m 総貯水容量:約10,000千 m^3

○経 緯 昭和54年度 実施計画調査着手
昭和58年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、立野ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

位置図



立野ダム完成イメージ

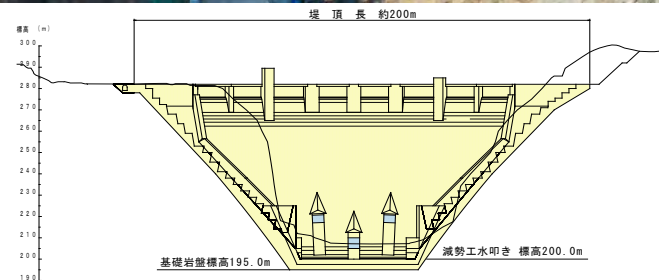
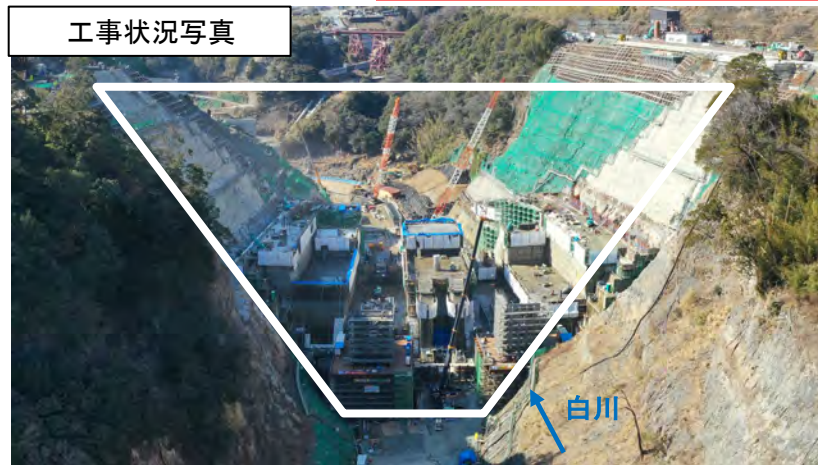


■令和4年度実施内容

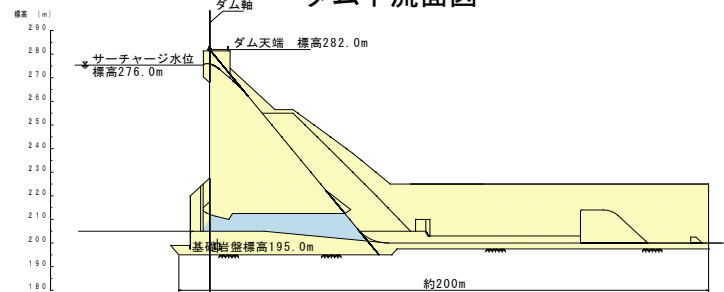
本体工事、管理用設備 等

事業費：16,043百万円

工事状況写真



ダム下流面図

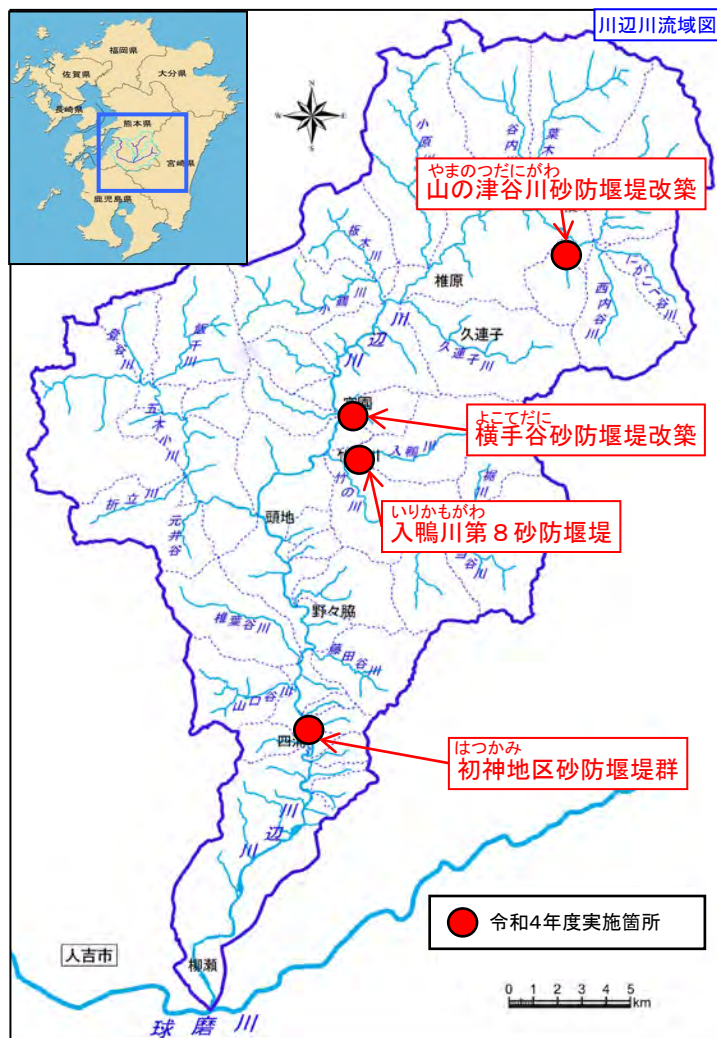


標準断面図

■球磨川水系(川辺川)直轄砂防事業(八代市泉町、球磨郡五木村、球磨郡相良村)

○川辺川流域は、急峻な地形、脆弱な地質条件を有しており、多雨地帯でもあることから、これまで頻繁に豪雨により土砂災害を引き起こしており、近年では平成24年に土石流が発生し大きな被害をもたらした。

○土石流による直接的な土砂災害の防止や下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図るため、砂防設備を整備中。



令和4年度
実施内容: 砂防堰堤工 等

事業費: 672百万円

■ : 令和4年度実施



■阿蘇山直轄砂防事業(阿蘇市、高森町、南阿蘇村)

○平成28年熊本地震とその後の降雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するため、阿蘇山(阿蘇カルデラ内)において、砂防堰堤等の整備を実施。

令和4年度

実施内容: 砂防堰堤工 等

事業費: 1,861百万円

地震後の土砂の流出状況

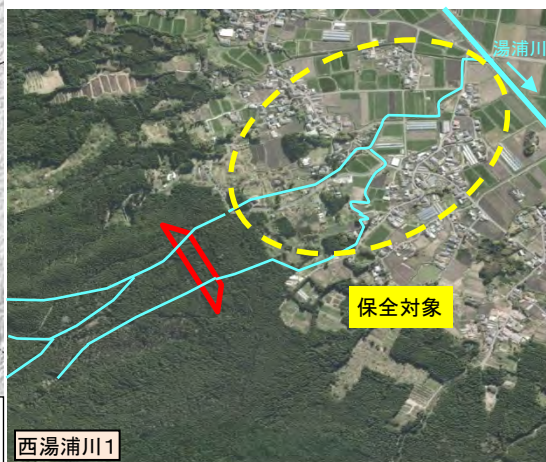
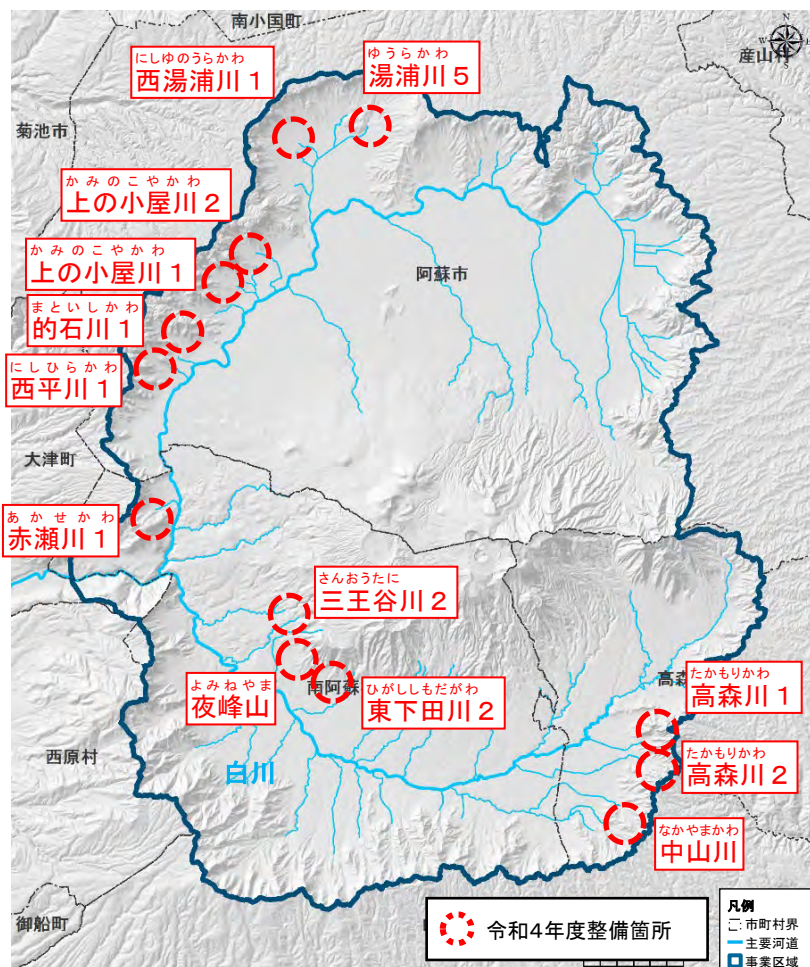
土石流発生状況



H28.4.29撮影



H28.8.6撮影

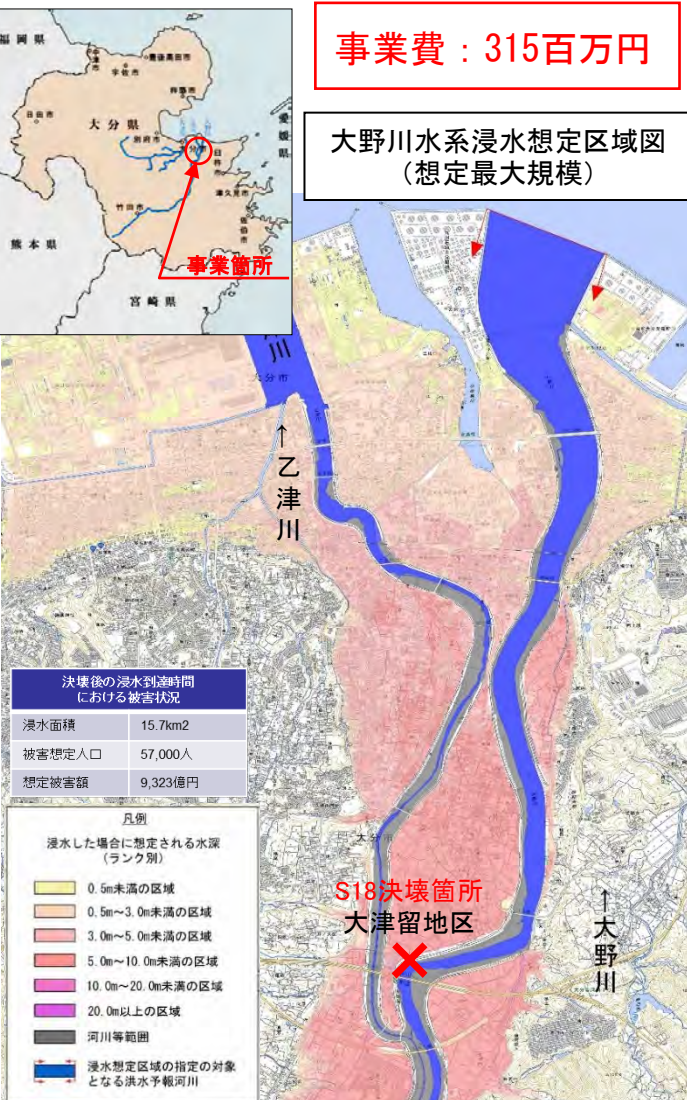


■大野川では、観測史上最大洪水である平成29年9月洪水等の影響により河床低下が進行しており、護岸等の構造物への安全性に対して影響が懸念されます。

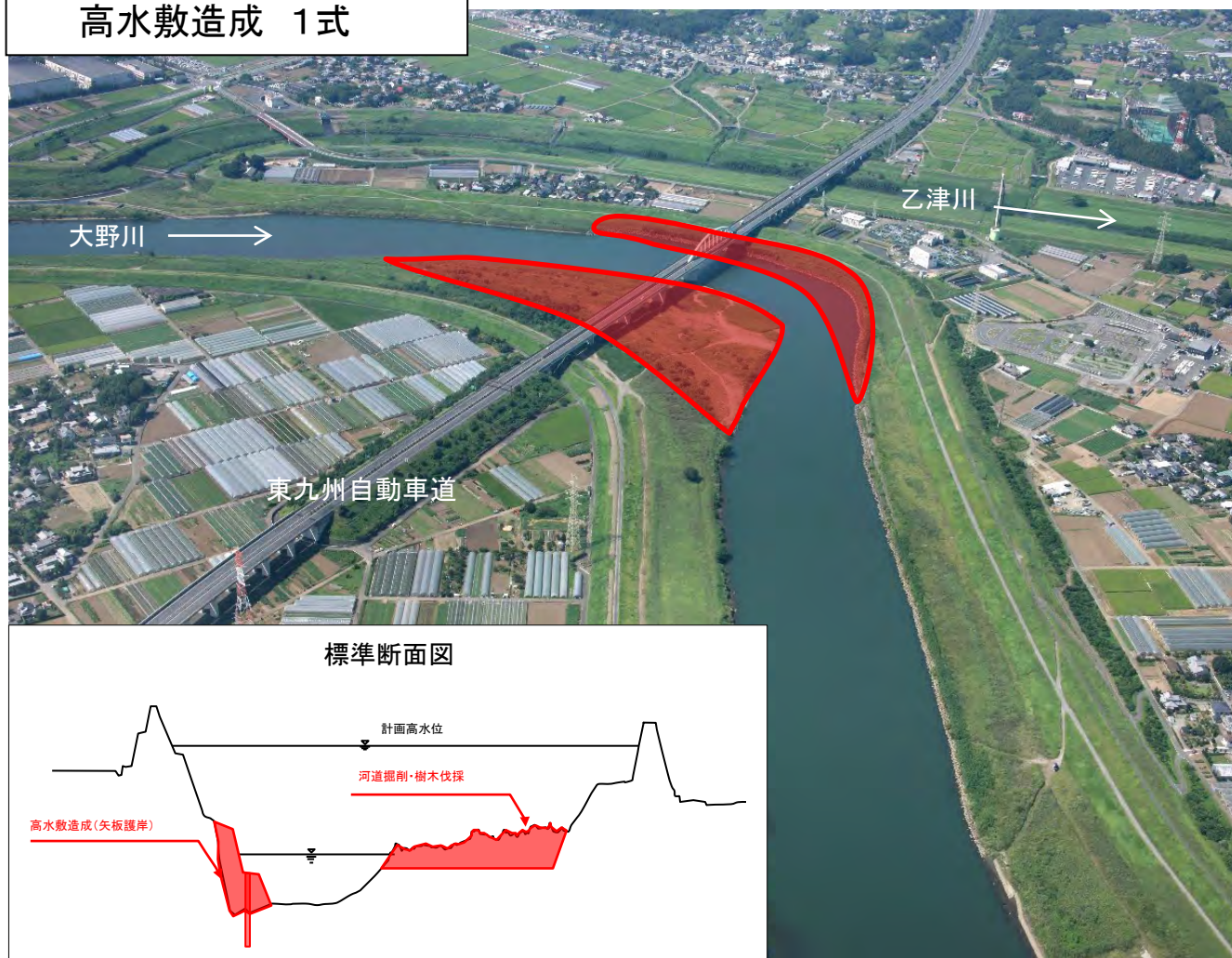
■このため、河道掘削、高水敷造成等による河床低下対策を実施することで、治水安全度の向上を図る。

事業費：315百万円

大野川水系浸水想定区域図
(想定最大規模)



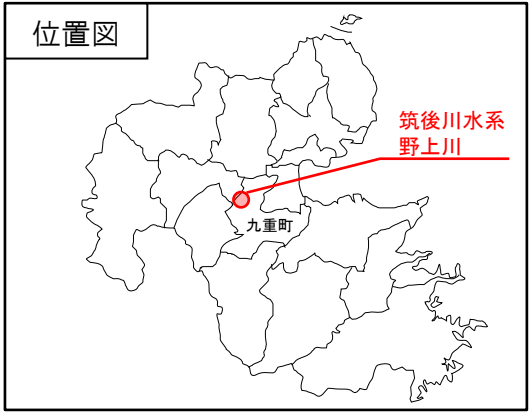
令和4年度実施内容
高水敷造成 1式



■筑後川水系野上川大規模特定河川事業(玖珠郡 九重町)

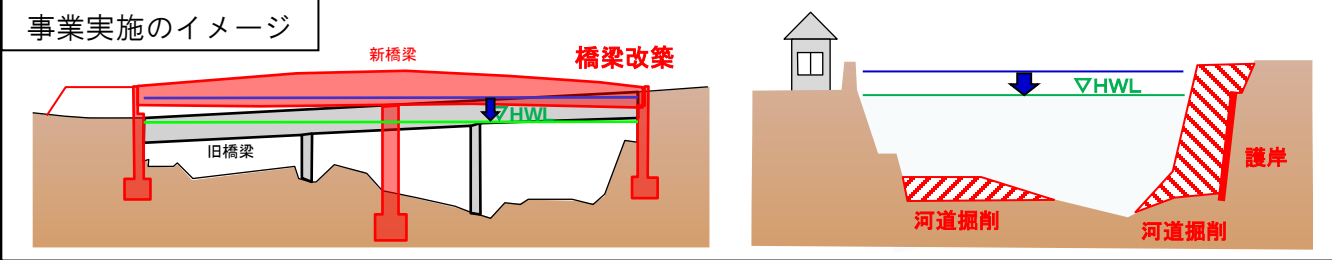
筑後川水系野上川は、玖珠郡九重町内の住宅密集地を流下し、JR久大本線や国道210号が近接する河川である。令和2年7月豪雨による洪水では、65戸の家屋浸水に加え、JR橋梁の流失等の甚大な被害が発生した。

このため、大規模特定河川事業により、河道掘削、橋梁改築等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



浸水戸数

野上川	浸水面積 (ha)	浸水家屋(戸)	
		床上	床下
令和2年7月	7.16	49	16



■事業概要

- 場 所 (右岸)大分県竹田市志土知 (左岸)大分県竹田市川床(大野川水系玉来川)
- 目 的 洪水調節(玉来川の洪水被害軽減)
- 諸 元 堤高;約52m 総貯水容量;約4,090千m3
- 経 緯 平成 3年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、玉来ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

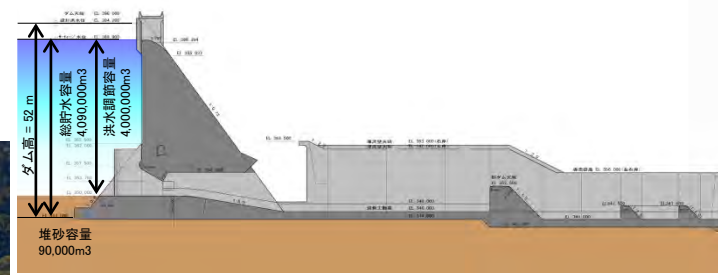
事業費(共同費) : 2,560百万円

■令和4年度
貯水池グラウト工、試験湛水 等

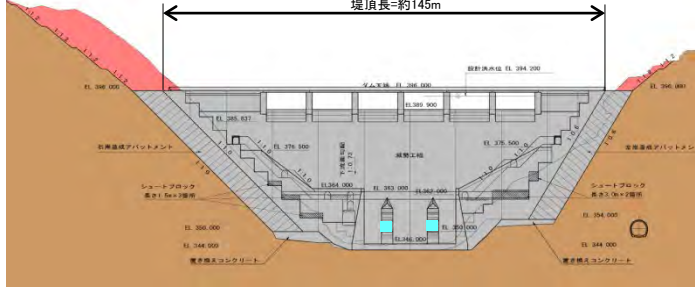
事業箇所の状況(R4.2撮影)



《玉来ダム標準断面図》



《ダム下流面図》



位置図



《玉来ダム完成イメージ》



宮越地区総合内水対策事業【直轄】

完成

河川－20

■小丸川では平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、宮越地区で床上・床下の浸水被害が発生。国・宮崎県・高鍋町が連携し『小丸川宮越地区総合内水対策計画検討会』を設置。総合的な内水被害の軽減対策として、総合内水対策計画を策定。

■宮越排水機場の整備を行うことにより、平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、床上浸水被害の軽減を図る。



- 本庄川では令和3年8月にかわまちづくり計画が登録され、本庄川（かわ）と町の資源（まち）に加えて、両町が連携し、水辺での交流や賑わいのある空間とするため、『本庄川の声聴き、国富・綾をつむぐ、かわまちづくり』をコンセプトに掲げ、取り組みを進めている。
- まち空間と融合する河川空間を創出するため、高水敷整正、河川管理用通路等の整備をおこなう。



事業費 164百万円※

※事業費は水系全体を記載

令和4年度実施内容

親水護岸、高水敷整正



綾町区間整備イメージ カヌーやオートキャンプ



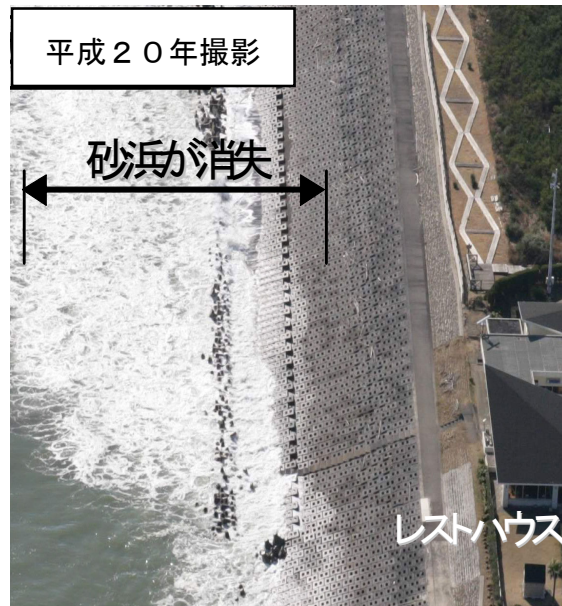
国富町区間整備イメージ

桜並木や季節の花の空間を創出し、軽トラ市等のイベント開催

■宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業(宮崎市)

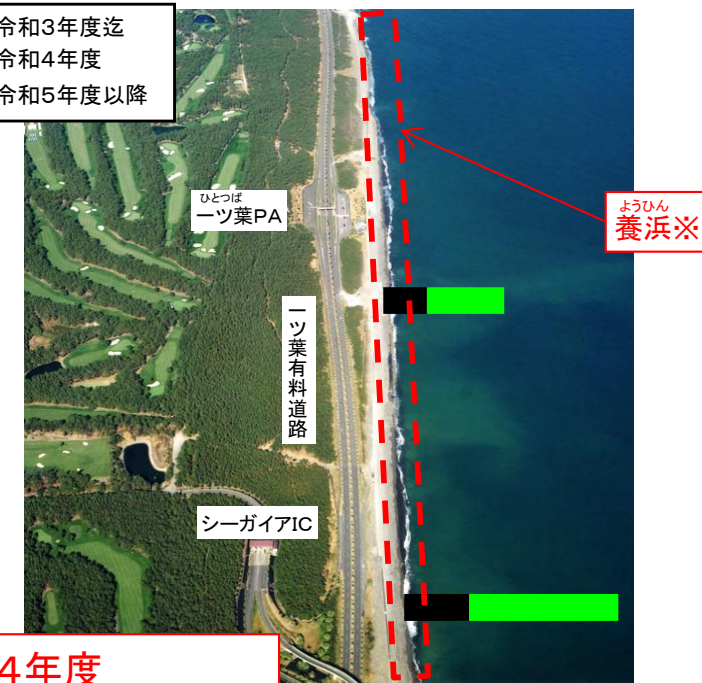
- 宮崎海岸は約50年間で平均約65m(最大94m)の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、人家や重要幹線道路への越波など、地域経済への影響は甚大となるおそれがある。
- 波浪による侵食防止対策として、関係機関と連携し、海岸保全施設の整備を実施。

長期的な地形変化



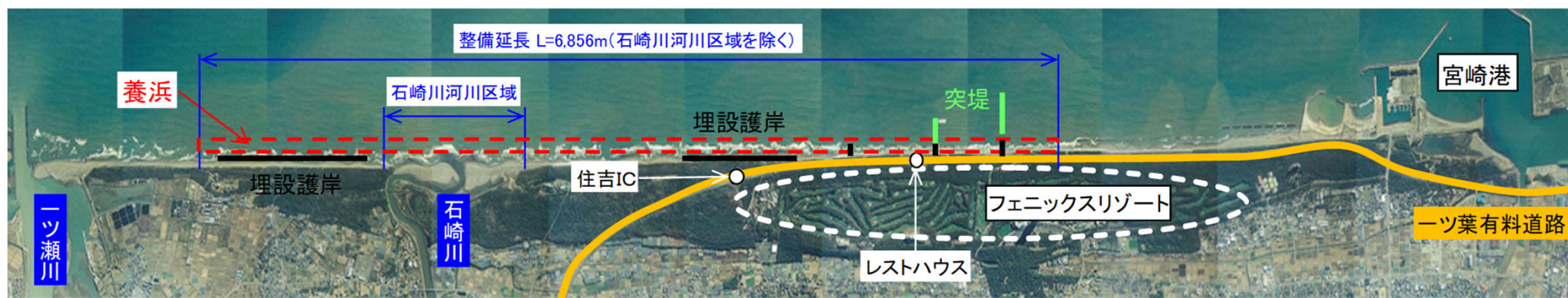
※養浜：海岸に人工的に砂を投入し、砂浜を養うこと。

令和3年度迄
令和4年度
令和5年度以降



令和4年度
実施内容: 養浜 等

事業費: 472百万円



天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業【直轄】

継続

河川－23

■川内川流域の下流部に位置する薩摩川内市は、昭和40年代の洪水により甚大な被害を受け、これまで薩摩川内市の土地区画整理事業と一体となった引堤等の整備を実施。

あまた

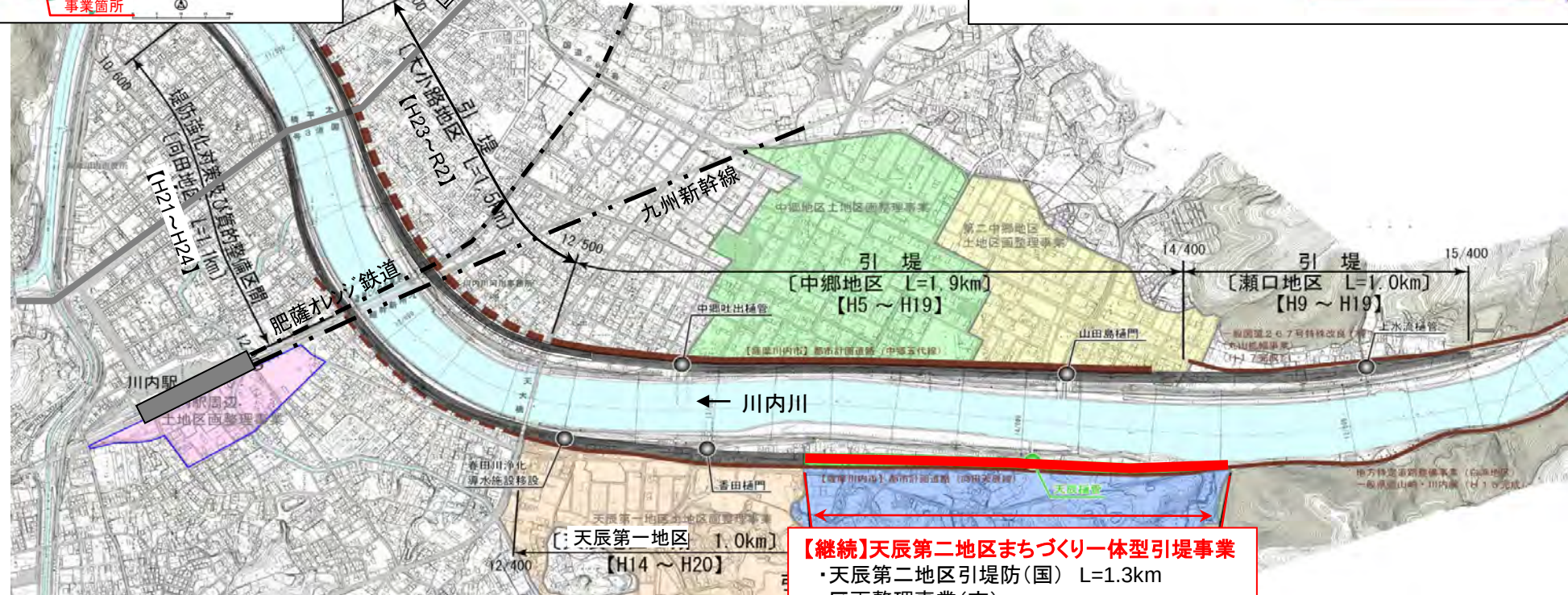
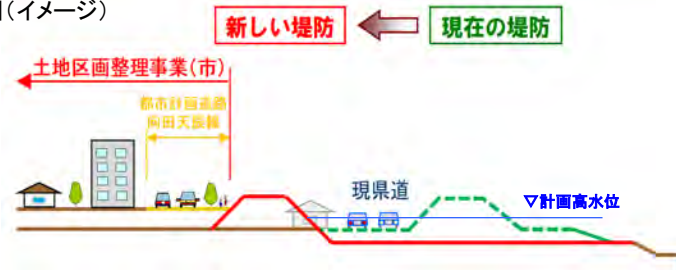
■天辰第二地区においては、令和2年度より引堤工事に着手しており、引堤を行うことで流下能力を向上させ、治水安全度向上を図る。



事業費：1,800百万円

※川内川水系における直轄河川改修事業の令和4年度事業費を記載しております。

横断面図(イメージ)



【継続】天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業

- ・天辰第二地区引堤防(国) L=1.3km
- ・区画整理事業(市)
- ・都市計画道路(市)

川内川水系(湯之尾地区)水辺整備業【直轄】

継続

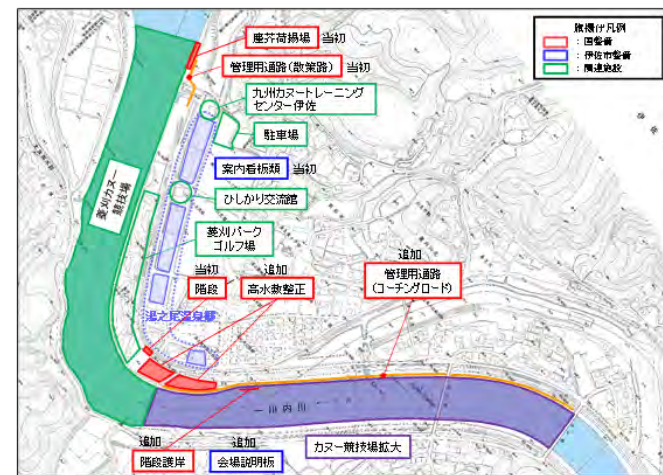
河川-24

■ 流域の5市町が連携・協働し、「水系一体でのかわまちづくり」が令和3年3月に変更登録され、地域資源・場の特徴を活かした地域活性化の取り組みを進めており、湯之尾地区では『ウォータースポーツ、アクティビティの普及・推進』を柱に据えている。

■ まち空間と融合する河川空間を創出するため、高水敷整正等の整備をおこなう。



【整備内容】



事業費：177百万円※

※事業費は水系全体を記載

令和4年度実施内容

高水敷整正、管理用通路

【整備イメージ（拡大箇所）】



国体カヌースプリント会場（湯之尾地区）

■桜島直轄火山砂防事業(鹿児島市)

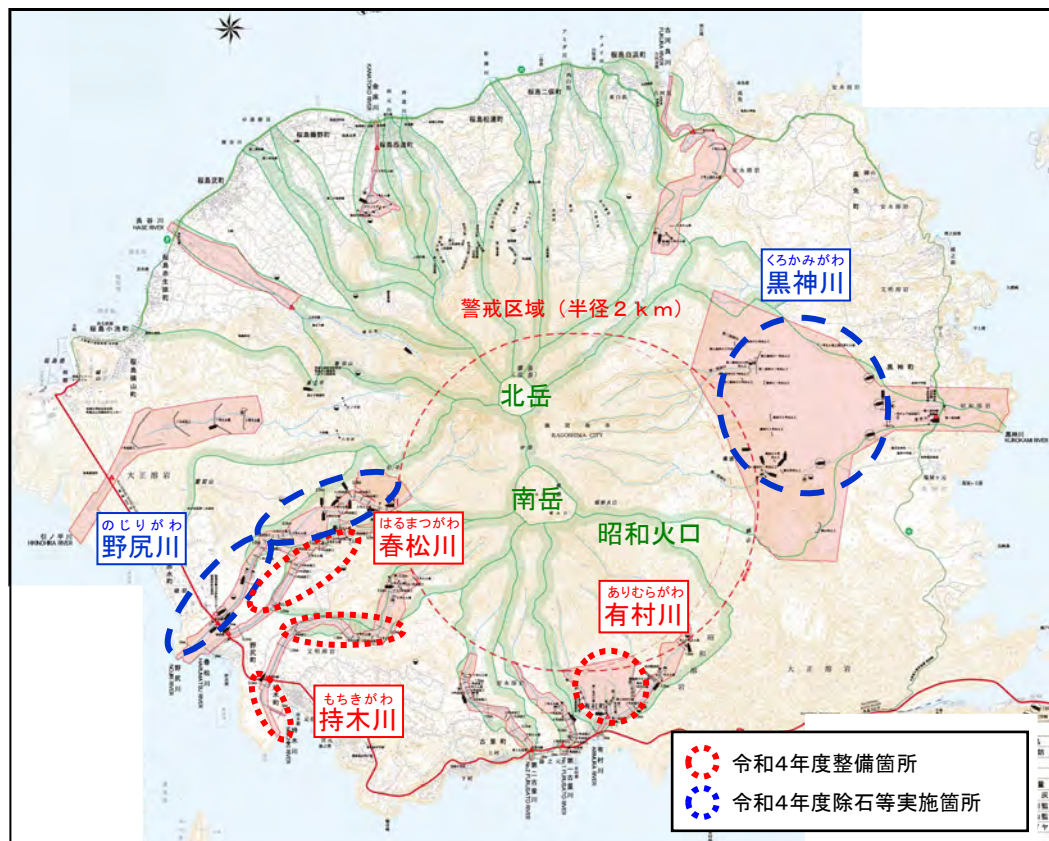
○桜島は、活発な噴火活動が継続しており、多量の降灰により降雨時に土石流が頻発。土石流による被害を防止するため持木川等において砂防施設を整備。

○土石流が頻発している2溪流(野尻川、黒神川)については、砂防設備の適正な管理・維持のため除石等を実施。

令和4年度

実施内容: 砂防堰堤工、溪流保全工 等

事業費: 981百万円、管理費: 935百万円



春松川の砂防設備状況



野尻川の除石状況